

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0169

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (文部科学省)

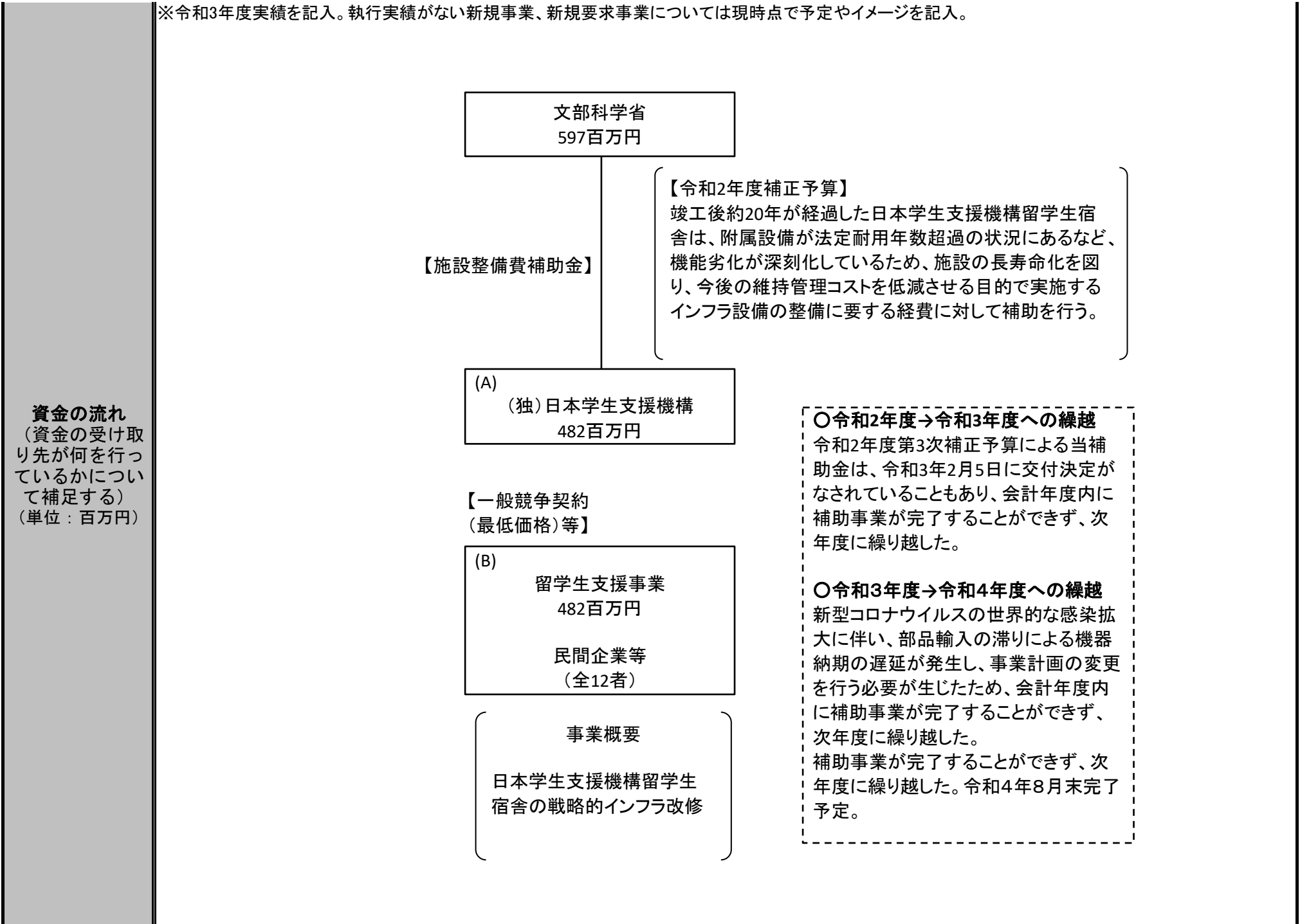
事業名	独立行政法人日本学生支援機構施設整備に必要な経費			担当部局	高等教育局		作成責任者			
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	学生支援課 参事官(国際担当)		学生支援課長 藤吉 尚之 参事官 渡辺 栄二			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	安心と成長の未来を拓く総合経済対策(令和元年12月5日 閣議決定) 国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策(令和2年12月5日) 物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日閣議決定)					
主要政策・施策	国土強靱化施策、ODA			主要経費	文教及び科学振興、経済協力					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人日本学生支援機構が行う施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人日本学生支援機構の施設の整備を推進し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与する。 令和元年10月12日の大風19号で被災した独立行政法人日本学生支援機構の東京国際交流館の災害復旧及び、竣工後約20年を経過した同施設のインフラ設備整備、加えて竣工後60年近く経過して老朽化、狭隘化が深刻化している機構市谷事務所について、老朽化対策等の必要な工事を行う。(補助率:定額)									
実施方法	補助、交付									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	415				
		補正予算	36	597	0	7,235				
		令和4年度 第2次補正予算				7,235				
		前年度から繰越し	0	36	597	597				
		翌年度へ繰越し	▲ 36	▲ 597	▲ 597					
		予備費等	0	0	0	0				
		計	0	36	0	8,247				
	執行額	0	34	0						
	執行率(%)	-	94%	-						
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	6%	-							
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由							
	独立行政法人日本学生支援機構施設整備費補助金	5,350								
	独立行政法人日本学生支援機構運営費交付金	1,884								
	計	7,235								
活動内容 (アクティビティ)	日本学生支援機構市谷事務所について耐震性能改善をはじめとした老朽化対策工事や、事業規模の拡大に伴う狭隘化を解消するための増築工事等を実施する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	必要な老朽化対策等を適切に実施する。	工事に着手した施設数	活動実績	件	-	-	-	1	-	
			当初見込み	件	-	-	-	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/件数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	7,235	
				計算式	百万円/箇所	-	-	-	7,235/1	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 4年度	
	市谷事務所の耐震性能(Is値)を全ての階層(1~5F、屋上の計6箇所)で0.6以上に にする	Is値が0.6以上のフロア数	成果実績	階	-	-	-	-	-	
			目標値	階	-	-	-	-	6	
			達成度	%	-	-	-	-	-	

活動内容 (アクティビティ)		安全性の向上や省エネルギーの推進等を目的とした修繕等を行い、必要な復旧工事を適切に行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	必要な修繕等を適切に行うことにより、安全性を向上させる。	復旧工事に着手した施設数	活動実績	件	1	1	-	-	-	
			当初見込み	件	1	1	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/復旧件数			単位当たりコスト	百万円	-	34	-	-	
				計算式	百万円/箇所	-	34/1	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	被災した東京国際交流館を復旧する。	復旧完了した施設数	成果実績	件	0	1	-	-	1	
			目標値	件	1	1	-	-	1	
			達成度	%	0	100	-	-	100	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	独立行政法人日本学生支援機構からの実績報告に基づく。									
活動内容 (アクティビティ)		安全性の向上や省エネルギーの推進等を目的とした修繕等を行い、必要な設備整備を適切に行う。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	必要な設備整備を適切に行うことにより、安全性を向上させる。	インフラ設備の整備に着手した施設数	活動実績	件	-	2	2	2	-	
			当初見込み	件	-	2	2	2	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/整備件数			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	241	
				計算式	百万円/箇所	-	-	-	482/2	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	留学生宿舎のインフラ設備の整備を行う。	整備完了した施設数	成果実績	件	-	0	1	-	-	
			目標値	件	-	2	2	-	2	
			達成度	%	-	0	50	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	独立行政法人日本学生支援機構からの実績報告に基づく。									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	5 奨学金制度による意欲・能力のある個人への支援の推進 13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進							
		施策	5-1意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進 13-1 国際交流の推進	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_5-1.pdf https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf					
	取組事項	分野:		-	-					
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
該当箇所		-								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、大規模災害により被災した独立行政法人日本学生支援機構の施設の復旧及び市谷事務所の老朽化対策等工事、機能劣化の著しいインフラ設備の整備を通じて、施設改修の好循環を創出しつつ、施設の長寿命化につなげるための事業であり、国が実施する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	対象の施設は独立行政法人日本学生支援機構が保有する施設であるため、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、大規模災害により被災した施設の復旧及び倒壊の恐れがある市谷事務所の改修及び機能劣化の著しいインフラ設備を整備するための事業であり、優先度は高く、国が実施する必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、独立行政法人日本学生支援機構会計規程等に基づき、一般競争入札を実施するなど、競争性や透明性の確保を図ることとしている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助の範囲等については交付要綱で定められており、事業計画書に基づき、必要なものに限定して交付している。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	費目・用途の精査を行った上で契約を締結しており、単位当たりコスト等の水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助の範囲等については交付要綱で定められており、事業計画書に基づき、必要なものに限定して交付している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	当初計画に基づき、事前調査を実施したところ、工事着工箇所の老朽化等による追加調査や工期の延長が必要となり、事業計画の変更を行う必要が生じたため。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業は、大規模災害により被災した施設の復旧及び機能劣化の著しいインフラ設備を整備するための事業であり、会計年度内に補助事業が完了していないが、再度繰り越された次年度において着実に事業が実施されていることから、成果実績は見込みに見合ったものと判断される。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和2年度第3次補正予算による当補助金は、令和3年2月5日に交付決定がなされていることもあり、会計年度内に補助事業が完了していないが、活動実績は見込みに見合ったものと判断される。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	復旧した施設は、従前の効用を発揮し、十分に活用される。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
事業番号			
事業名			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度			
平成24年度	204		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度	文部科学省	0158	
令和3年度	2021	文科	20 0172

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.独立行政法人日本学生支援機構			B.宝電設工業株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設整備費	留学生宿舎に係る施設整備費	482	施設整備費	東京国際交流館照明設備等改修その他工事	165
計		482	計		165	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学生支援機構	7020005004962	日本学生支援機構留学生宿舎の戦略的インフラ改修	482	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宝電設工業株式会社	4010001004706	東京国際交流館照明設備等改修その他工事	165	一般競争契約 (最低価格)	11	-	
2	株式会社ネオテック	5040001024345	東京国際交流館家族棟空調設備改修工事	76	一般競争契約 (最低価格)	6	-	
3	アズビル株式会社	9010001096367	東京国際交流館中央監視設備更新工事	76	随意契約 (その他)	-	-	
4	株式会社センチュリー・パル	4120002049747	兵庫国際交流会館居室空調設備改修工事	24	一般競争契約 (最低価格)	10	-	
5	株式会社センチュリー・パル	4120002049747	兵庫国際交流会館単身棟電気温水器更新工事	15	一般競争契約 (最低価格)	9	-	

